



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2019-2020年度 第20週報 No. 2094 2019年(令和元年) 11月22日 第2094回 例会記録 11月29日発行

本日〈11月29日〉のプログラム

夜間例会



写真提供 小池 将夫

司 会

田口健太郎 副幹事

点 鐘

白鳥 厚夫 会長

斉 唱

「手に手つないで」
ソングリーダー 河野 明光 会員

四つのテスト

岡部雄一郎 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介

- 大山 美和 様(ゲストスピーカー)
- 澁谷 武子 様(故 澁谷高弘会員ご家族)
- 澁谷 俊樹 様(" ")
- 中島 敦 様(例会見学者)
- 鈴木慎二郎 様(地区幹事・川崎マリーンRC)
- 小山 宏明 様(地区大会委員長・川崎マリーンRC)
- 野口 四郎 様(地区大会副委員長・川崎マリーンRC)

特別行事

◆故 澁谷高弘会員ご家族様よりご挨拶



2019-2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニ



第2590地区 ガバナー 轟 淳次

会 長	白鳥 厚夫	会 計	白井 康夫
会長エレクト	山本 芳弘	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	小山市 康	S A A	友添 辰哉
副 会 長	飯田 泰之	副 S A A	金森 欣一
幹 事	田中 龍太郎	副 S A A	伊東 英紀
副 幹 事	田口 健太郎	クラブ会報	中野 真理

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
 例会場 ホテルキャメロットジャパン
 URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
 E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
 創立記念日 昭和51年5月29日

◆地区大会実行委員長より御礼のご挨拶と感謝状受理



会長報告

白鳥 厚夫 会長

- ・次週、例会は夜間例会です。また、OWOP協会から5名を招待し、鈴木会長の卒寿のお祝いを行います。会員皆様のご参加をお待ちしております。
- ・米山奨学会より矢野会員に米山功労者第15回メジャードナーの感謝状が届いておりますので贈呈します。



結婚記念日祝

田中龍太郎 会員 (11月27日)
我妻 隆邦 会員 (11月28日)
飯田 泰之 会員 (11月30日)



幹事報告

田中龍太郎 幹事

- ・“2019年手続要覧”の注文書を回覧致します。一冊1100円で入荷は12月頃の予定となります。
- ・12月1日(日)に開催されますRLIパートⅢのご案内を会員のボックスへ配布致しました。まだ受けられたことのない方はご参加の程、よろしくお願ひします。参加を希望される方は事務局まで申し出ください。
- ・地区より、『2020年国際大会(ハワイ・ホノルル)地区ナイトへお誘いと国際大会ツアーのご紹介案内』が来ておりますので回覧致します。

入会記念日祝

森永 健 会員 (12月1日)



誕生日祝

長井 章 会員 (11月22日)
吉橋佐千男 会員 (11月30日)
矢野 修二 会員 (12月3日)
石井亜由美 会員 (12月3日)
加藤 仁昭 会員 (12月5日)

出席報告

森永 健 出席委員長

会員総数	53名	(34+19)名
出席会員数	41名	(29+12)名
出席率	89.13%	
ゲスト	7名	ビジター 0名
前回補正後	79.55%	前々回補正後 89.58%

スマイルボックス

金森 欣一 副SAA

地区大会委員長 小山宏明様、地区大会副委員長 野口四郎様（川崎マリンRC） 本日は、地区大会を無事に終えることの出来た御礼に、ガバナーからの感謝状を持参して伺いました。貴クラブに於かれましては、コホストクラブとして地区大会の運営に多大なるご協力を頂きました。加藤さんには大会副幹事と共に、R I 会長歓迎晩餐会とR I 会長接待委員会副委員長として、また山田さんには大会副幹事と共に総務委員会の副委員長として、天野さんには大会副SAAとして、大いにご活躍して頂きました。大会の成功は、神奈川東RCの皆様のご協力あればこそでございます。改めて感謝を申し上げると共に神奈川東RCの今後益々のご繁栄と会員皆様のご健勝・ご多幸、ホストクラブとして開催される次年度地区大会のご成功をご祈念申し上げます。

川崎マリンRC 鈴木慎二郎様 いつもお世話になっております。昨日、ようやく公式訪問が終わりました。少しホッとしました。

矢野修二君 誕生日のお祝いをありがとうございます。

加藤仁昭君 ①川崎マリンRC 鈴木様、小山様、野口様、ようこそ。いつもお世話になっております。②職場訪問参加の皆様、お疲れ様でした。紅葉がきれいで良かったです。③誕生日祝い、ありがとうございます。

長井 章君 誕生日祝い、ありがとうございます。

石井亜由美さん お誕生日のお祝い、ありがとうございます。健康に気を付けて頑張ります。

飯田泰之君 結婚祝い、ありがとうございます。

我妻隆邦君 結婚記念日のお祝いをありがとうございます。本日、所用により欠席致します。

田中龍太郎君 結婚記念日のお祝い、ありがとうございます。

森永 健君 入会祝い、ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します

白鳥厚夫君 ①大山美和さん、本日の卓話、楽しみです。②鈴木慎二郎様、小山宏明様、野口四郎様、地区大会ご苦労様でした。③澁谷様、本日はご苦労様です。

吉田隆男君 鈴木地区幹事、小山地区大会委員長、野口地区大会副委員長、ようこそいらっしゃいました。

月山 勇君 今年度地区役員 マリンRC 鈴木様、小山様、野口様、ようこそ。地区大会も終わり、ホッとしていることでしょう。我がクラブはクールになりつつ・・・です。

伊東英紀君 寒くなりました。体に気を付けて下さい。

山田正憲君 ①鈴木地区幹事、小山地区大会委員長、野口地区大会副委員長、地区大会ではお世話になりました。来年もご協力をお願いします。②寒いですね。一昨日、長野のお山は雪でした。

天野公史君 ①岡部委員長、遠足のような優良職場訪問ありがとうございました。参加者が多ければもっと良かったですね！②川崎マリンRC 鈴木さん、小山さん、野口さん、ありがとうございます。

須永久一君 お見舞いありがとうございます。お蔭様でこのように良くなりました。

加野亮一君 岡部さん、先週の優良職場訪問ありがとうございました。リニア走っていなくて残念でしたが、またリベンジしましょう！

北村大輔君 中島さん、本日はようこそいらっしゃいました。ごゆっくり見学して頂き、ご入会を検討して下さい。

金森欣一君 先週は、優良職場訪問楽しかったです。

11月22日	20件	175,500円
本年度累計		922,500円
年度目標進捗状況		-6%

未来を創るファミリービジネスと事業承継

ネクストステージ・コンサルティング 代表
大山 美和 様
(紹介者 白鳥 厚夫 会員)



卓話に招致いただきありがとうございます。

ネクストステージ・コンサルティングとして、会社の成長の踊り場や再生を次のステージに成長していくお手伝いをしています。30年にわたり、日米において企業の再生やM&A支援に携わってきました。現在は、自身の経験も踏まえ、オーナー企業のために、事業承継・経営革新のコンサルティングを行っています。その現場からのお話をさせていただきます。

世界の200年を越える企業の約4割を日本の企業が占めており、断トツの老舗大国です。その多くがファミリービジネスで、世界でも繁栄している企業の多くは非上場のファミリービジネスです。

ファミリービジネスは、経営がずさんな同族会社のような印象をお持ちの方も多いのですが、実は、株主、ビジネス、ファミリーの3つの円がそれぞれ三脚の足としてバランスをうまくとって一団として堅固なシステムを作っている組織体です。ぜひファミリービジネスとして活躍いただければと思います。

さて、日本には100年を越える老舗が3万社もあります。しかし、100年を越えるのは難しく、3-4代目に100年の壁があります。

会員の広場

矢野 修二 会員

当クラブ米山記念奨学生（ベトナム）ドック君の学校の学園祭に植田会員と行って参りました。

ベトナムのブースではドック君たちが揚げ春巻きを作って売っており、一本150円で500本完売したそうです。私たちが買いましたがとても美味しい春巻きでした。

また、帰りは植田会員に大変お世話になり、楽しい一日でした。



老舗企業で、創業時から同じ場所で同じことをしている会社は約2割です。残りの8割は場所もサービスも新しく進化しています。つまり、老舗が老舗たるゆえんは革新的であることです。その他にも老舗が永く続く秘訣があります。企業を先祖から預かったものとして1世紀先の長期的な展望を持ち、質実剛健で無理をしない経営で、ファミリーとしての将来ビジョンを持ち、団結してビジネスにあたること、地域社会に根をおろし長期的な取引関係を築いています。

ビジネスは人で作られています。ファミリービジネスを繁栄させるためには、それぞれのキャリアが大切です。四季（春・夏・秋・冬）モデルといいますが、人格・ビジネスを学ぶ春の時代、ファミリービジネスを学ぶ夏の時代、統合してリーダーとして活躍する成熟の秋の時代、そして、ビジネスを引退する冬の時代というサイクルが大切です。後継者にも同様な四季モデルの学びが必要で成熟したタイミングでバトンを渡すことが望めます。後継者の教育は、ご両親共にこのモデルを理解した上でサポートできることが大切と思っています。

皆様には、まずこの10年間で会社の事業をどう成長させるのか、そして、自身や後継者がどのように引き継いでいくのか、じっくり考えてみてください。

会社が資産超過か債務超過かで対処の仕方が異なります。適切な後継者がいなければM&Aすればよいと考えがちですが、それができるのは資産超過の場合のみです。ファミリービジネスの繁栄には人材の育成が大切です。

ぜひ後継者候補を早い段階から教育し、事業に係わらせ、みなさまの会社が未来を創るファミリービジネスとなっていくことをお祈りしています。

岸根公園花壇花植え実施

24日、岸根公園の花植え、終了致しました。ご参加の皆様、ありがとうございました。24日朝は冷たい雨が降りしきっていましたが、11時にはすっかり、晴れわたりました。

地球にキスしてハクビシンと言われている白鳥会長、アウトドアの帝王 角田会員、筋肉派 岡部会員、茂木で、滝川造園さんの力を借りて、11時30分には植え終わりました。

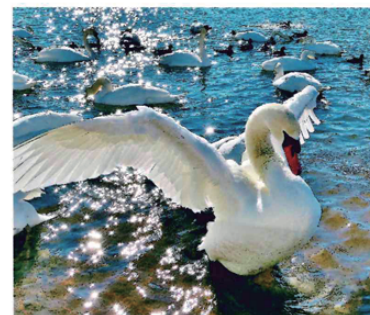
11時30分には、参加の方々がそぞろ集まって来て下さり、即、宴会となりました。お洒落な北村夫妻も参加して下さいました。



12月4日～28日まで、小池将夫会員の写真展が反町の『居酒屋 美棟 TARATARA』にて開催されます。お近くにいらした際は、是非、お立ち寄り下さい。

小池将夫写真展 2019
マサオ 12/4~28

白い季節



会場 美棟 TARATARA

横浜市神奈川区反町1丁目5-8 090-4395-5587

東急・反町駅徒歩3分 スーパー「トップ」先50米

16:00~23:00 定休日 月・火
コーヒーもあります

お近くにお越しの際は是非ともお立ち寄りください

ロータリーニュース

世界ポリオデー：また一步、大きな前進を遂げる

世界ポリオデーの10月24日、ロータリーとパートナー団体による世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）は、「ポリオのない世界」という究極の目標に向けて、また一步、大きな前進を遂げました。この日、3型の野生型ポリオウイルス株の根絶が発表されました。この歴史的な発表は、世界ポリオデーにロータリーが世界各地で配信した特別プログラムの中で、世界保健機関（WHO）のテドロス・アダノム事務局長が行いました。同氏は、3型ウイルス株による発症が2012年11月にナイジェリアで検知されて以来報告されておらず、専門家から成る独立委員会が、この種類のウイルス株が世界的に根絶されたことを結論づけたと述べました。2型ウイルス株は、2015年に既に根絶が宣言されています。「これにより、残るは1型の野生型ポリオウイルスだけ」とテドロス・アダノム氏は述べ、ポリオフリーの世界の実現に向けたこれまでのロータリーの尽力に言及しました。また、自己満足が最大の敵だと指摘し、「最後の一押しのために2倍の努力で臨んでいただきたい」と激励のメッセージを寄せました。

「未来の子どもたちが“ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます」「今活動を止めれば、ウイルスが再び流行し、年間20万人以上が新たに発症するという以前の状態に戻ることになります。（中略）私たちは最後までやり遂げなければなりません。力を合わせれば、未来の子どもたちが“ポリオ”という言葉を目にするのが、歴史の本の中だけになる日が必ずやってきます」

ロータリーによる今年の世界ポリオデープログラムは、世界各地に合わせた時間帯と言語で、フェイスブックにて配信されました。UNICEF USA とビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなったこのプログラムでは、パラリンピックメダリストのアデ・アデピタンさん、スーパーモデルのイザベリ・フォンタナさん、科学教育者のビル・ナイさん、女優のアーチャー・パンジャビさんなども登場しました。またこのプログラムには、インド、パキスタン、ウクライナの子どもたちをポリオから守るために活動しているロータリー会員3名を紹介した映像も含まれていました。パキスタンでは、ロータリアンのタヤバ・グルさんが医療従事者のチームと協力し、ポリオワクチンの重要性について母親と子どもへの教育を行っています。インドのヘメンドラ・ベルマさんは、医療従事者とボランティアを通じて、すべての子どもに予防接種することを奨励しています。また、ウクライナのロータリアンであるセルフィ・ザバスキーさんは、子どもへの予防接種に消極的な人たちに情報を提供するため、ソーシャルメディアや公共イベントを利用したアドボカシーと啓発プログラムを実施しています。これらの3人のヒーローは、世界中のロータリアンと同じく、献身的にボランティア活動をすることの大切さを伝えています。

幼少期にナイジェリアでポリオに感染したポリオサバイバーのアデピタンさんは、ここ3年間以上、祖国ナイジェリアで野生型ポリオウイルスによる発症が起きていないことに触れ、これはとてつもない偉業であると称えました。

ナイジェリアでのこの画期的な達成により、WHOが定めるアフリカ地域全体が来年、野生型ポリオウイルスのない地域として認定される道が開けました。アデピタンさんは、一昔前は世界中のポリオ症例のほぼ75%がアフリカで起きていたことに触れ、アフリカ大陸における大きな前進を強調しました。

「今日、アフリカに住む10億人以上の人たちがポリオのない未来を迎えようとしています。活動はまだ終わっていません。私たちは『ポリオのない世界』という、より大きな勝利に向け努力しています。実現が待ちきれません」

科学教育者のビル・ナイさんは、ワクチンに対する人びとの抵抗が世界にもたらす脅威について話しました。「ワクチンに対する逆風が強くなると、予防可能な病気の流行が増えます。はしかだけでなく、ロタウイルスや破傷風、ポリオだってそうです。ワクチンの科学は確立されており、議論の余地はありません」
「GPEIが始まった1988年以来、ロータリーとパートナー団体は、ポリオワクチンの普及に取り組んできた」とナイさん。30年前、ポリオは1年間に35万人の子ども達に影響を与えていました。その後、世界中で大規模な予防接種キャンペーンが行われ、今日までにポリオ症例数は99.9%以上減少しています。ナイさんは「これで予防接種の効果が具体的に示された」と話します。

世界が直面している課題

これらの成果にもかかわらず、アフガニスタンやパキスタンではポリオの症例が増加しています。地域によってアクセスが困難であること、予防接種を行うボランティアのための安全性が確保されていないこと、人びとの移動が非常に多いことなどが増加の理由となっています。2018年全体で、これら2カ国で報告された野生型ポリオウイルスの症例数はわずか33件でした。しかし、2019年の現時点で症例数は既に88件となっており、専門家は今後さらに増える予測しています。

WHOのポリオ根絶部長であるミシェル・ザフラン氏は、ポリオ根絶活動の中核はシンプルなもので、子どもたちに十分なワクチンを与えることができれば、ウイルスが宿る場所は減り、最終的にウイルスは消滅する、と話します。しかし、現状は複雑で、地域によってはワクチンを受けていない子どもが何千人もいます。

「接種を受けていない子どもがいる理由は地域によって異なります。（中略）治安が悪いためにワクチン投与者が行くのを恐れている地域もあります」と話すザフラン氏。治安のほかにも、インフラや安全な水供給の不足、不備のある活動計画、地域社会からの反発といった要因を指摘します。

ザフラン氏はまた、ポリオのさらなる蔓延を防ぐために、保健ワーカーが各地域社会を調べ、子どもが見落とされる原因を突き止め、地域特有の課題を克服するためにカスタマイズされた計画を作成していると話します。このアプローチは、2014年にポリオ根絶が宣言されたインドで、保健専門家が最後の障壁を乗り越えるために用いた方法と類似しています。

「この取り組みを信じ、支援を続けるための自信をなくすべきではありません。希望をもって活動を続けることです」と話すザフラン氏。「世界中で資金を集め、この取り組みに対する支援を政府に要請していく必要があります。（中略）ゴール地点は見えています。弱気になっている場合ではありません」

故 澁谷高弘会員を偲んで

・・・故 澁谷会員ご子息 澁谷俊樹様からご挨拶・・・
(11月22日例会にて)

父 澁谷高弘の葬儀の際には、ご丁寧なご弔詞をいただき、そのうえ過分なご厚志を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

去る11月9日に無事四九日の法要を営むことができました。現在は横浜市の三ツ沢墓地に納骨されております。

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、父は晩年に何度も入退院を繰り返しておりました。しかし、いつも大きな声で元気に退院してきていたので、今回も退院してくると信じていました。父が亡くなったことは我々家族にとって突然の出来事でした。

そんな家族が動揺している際、ロータリー会員の方が、家まで駆けつけてきてくれて温かいお言葉をかけてくださいました。葬儀の受付のお手伝いをしてくださいました。白鳥会長から弔辞をいただきました。多くの会員の方にご参列いただきました。その全ての行動が残された我々家族にとって本当に心強かったです。

34年という長きにわたり神奈川東ロータリークラブに在籍でき、最後まで現役ロータリアンとして皆様から本当に心あたたかく送り出していただけましたこと。父も感謝していると思います。私たち家族一同も心から感謝しております。

僅かながらですが、お礼のお気持ちを用意いたしましたので、寄附金等でお使いいただければと思います。本当にありがとうございました。

澁谷高弘会員の四十九日が経過し、ご家族様から、御心のこもった大変丁寧なご挨拶をいただきました。澁谷さんのご冥福を祈ると共に、会員がその思い出を共有できるよう、石川会員のご厚意のもと、澁谷さんの思い出に関する記事を掲載いたします。
(クラブ会報委員長 中野 真理)

「まだ早い 天国で揮る マイタクト」

石川 正三 会員

クラブでの澁谷さんをめぐる最近の話題は何んといってもマイタクトによる彼のコンダクター振りでした。

例会が始まってすぐ、ロータリーソングの時には、澁谷さんはご持参のマイタクトを持って中央に静かに歩みよる。そしてテープの音に合わせて大振りで彼独特の振り付けで会員たちをソングの合唱にさそいこむ。見ているだけでも「ウーン」と声を出したい程のそれは、まことに見事な采配振りなのです。

我がクラブのホームページでは「この姿を見るだけでも『メークアップ』の価値あり」と他のクラブの会員たちに来場をうながしていました。

特に来年秋は、若い頃からJ.C青年商工会議所とロータリーで常に澁谷さんの後をおつてきた吉田隆男さんが地区のガバ

ナーに就任します。その最大のイベントである地区大会で澁谷さんがメインコンダクターをつとめることになっていました。「一寸派手な姿」でタクトを振ろうと会員たちにロータリーの様々なバッチを提供して貰い、ブレザーの胸や腕の処に色とりどりのバッチを飾って観客たちの目を引こうというアイデア。「沢山バッチをつけたら腕が上がりづらくて困った!!」と笑っていましたが、恐らくご自宅で練習をされていたのでしょう。皆が楽しみにしていた晴れ姿をもう見る事が出来なくなりました。

10月26日の今年の地区大会。澁谷さんは物故者として、本会議場で紹介され、黙祷がささげられました。今年のコンダクターは女性。その平凡な？指揮振りを見ていると澁谷さんのあのダイナミックなタクトの動きがふと思い出され、思わず無念の涙がこぼれました。誠に残念な限りです。



◆表紙の写真◆

全国的に紅葉のピークのこの時期は、私達の身近な木々も紅葉。都会の紅葉もおつなものです。

【撮影地 神奈川区の幸ヶ谷公園 小池 将夫 会員】

次回〈12月6日〉の予定

「脳科学の観点から考察する中高年のモテ術と、

これからの若者との接し方」

フリーライター 山田ゴメス 様

(紹介者 加野 亮一 会員)